

令和6年度 日野市立平山中学校経営重点計画					自己評価シート					令和7年3月公表				
★学校教育目標					○					★重点計画の概要				
★目指す学校像（ビジョン）										1 学ぶ力の定着2 体力の向上3 多様な学び4 豊かな人間性の育成5 安全・安心				
【目指す児童・生徒像】					持続可能な社会の創りてとして多様な見方・考え方ができる生徒 探究心をもって個人と社会の相互の成長に貢献し、新たな価値を創出する									
【目指す学校像】					＝計画ID5									
【目指す教師像】					熱意に溢れ、親身に指導する教師 個性を尊重し多様性を認める教師 切磋琢磨し、高め合う教師集団									
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準						学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策			
				評価点	取組指標		評価点	成果指標						
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	学ぶ力の定着	・主体的・対話的な学習習慣 ・授業改善の推進	・調べ学習や対話的な学習等にタブレットや学校図書館を積極的に活用し思考力・判断力・表現力を高める。 ・校内研修を年5回、そのうち3回は授業研究を3回実施し、主体的・対話的で深い学びの工夫改善を行い、授業が分かる生徒を90％を目指す。	4 研修を通して、授業力が高まり、わかりやすい授業を行えた教員100％以上	3 結果:100%(±0) 5％以上	2 研修を通して、授業力が高まり、わかりやすい授業を行えた教員90％以上	1 研修を通して、授業力が高まり、わかりやすい授業を行えた教員90％未満	4 授業の内容がよくわかる生徒が95％以上	3 授業の内容がよくわかる生徒が90％以上	2 授業の内容がよくわかる生徒が85％以上	1 結果:87%(+2.2)	校内研修会や研究授業の成果が、自身の担当教科の授業改善にどう反映させ方や授業内容の理解に重点をおいて、思考力・判断力・表現力の向上に視点を置き方、総合的な学習の時間での学びに向かう力（主体的に学習に取り組む姿）の視点に置き方で、生徒の評価が変わってくるのではと考える。	【分析】・生徒の「授業の内容がよくわかる」のよくあてはまるが前年度比+0.8。年間5回の校内研のうち講師に3回講義を実施し、教員の意識が向上した。 ・生徒による授業評価を元に授業改善を図った。 【改善点】総合的な学習の時間の課題設定やICT等の活用を増やしていく。	
	体力向上	・運動機会の増加 ・健康な体づくり	・朝や昼休み、放課後の活動や部活動を通して運動機会を増やし、生徒の積極的な運動への取り組みを推進し、体を育て、体力の向上を図る。 ・望ましい食習慣や健康なからだづくりの指導を充実させ、基本的生活習慣の基盤を整え、自律心、調整力を育む。	4 体を育てる取組に協力している教員100％	3 結果:100%(±0) 5％以上	2 体を育てる取組に協力している教員90％以上	1 体を育てる取組に協力している教員90％未満	4 運動を頑張り、体が強くなった生徒80％以上	3 結果:87%(+2.2) 5％以上	2 運動を頑張り、体が強くなった生徒70％以上	1 運動を頑張り、体が強くなった生徒70％未満	○体育の授業や体育祭の生徒の姿を見て、運動することを楽しむ生徒、ワンチームを意識してチームスポーツを楽しむ生徒、体育系の部活動の生徒の主体性等、感心する場面が多かった。 ○日野市の地産地消を大切にした給食による食育、歯磨き習慣や基本的生活習慣の定着を図る保健指導等、健康指導もよかった。	【分析】・生徒の「運動を頑張り、体が強くなった」よくあてはまるが前年度+1.1。「部活動によく取り組んだ」は前年度比+3。部活動や体育の授業、学年でのレク等を行い体力向上を図った。 【改善点】食育や体づくりにも力を入れ体力向上を図るとともに、運動の機会を増やす。	
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	多様な学び	・自主的に学ぶ生徒の育成 ・登校支援の充実 ・特別支援の多様化	・放課後学習教室（SSR）、自習コーナー（ポップコーンタイム）などの機会充実・支援員の充実により自主的に学ぶ生徒を育成する。 ・カンガルームの活用し、専門機関への相談機会と連携し、生徒の登校支援を行う。 ・リソースルームの活用し、個に適した学習支援を行う。 ・特別支援教室（ステップ教室）の活用し、	4 自主的な学習に取り組む生徒を増やせた教員95％以上	3 自主的な学習に取り組む生徒を増やせた教員90％以上	2 結果:64%(−19) 5％以上	1 自主的な学習に取り組む生徒を増やせた教員85％未満	4 自主的な学習に取り組み、学力が高くなった生徒85％以上	3 自主的な学習に取り組み、学力が高くなった生徒80％以上	2 自己評価が75％以上	1 結果:81%(+4.5) 75％以上	「自主的な学習に取り組む」とは、生徒が個々に別スペースや家庭で計画的に自主学習に取り組むという意味では、先生方自身の評価が低くなるのは、間違っていないと感じた。教師の評価と比べて、生徒の自己評価が81％と高くなっていることは日頃の先生方の指導が生きてきていると推察する。	【分析】・生徒の「自主的な学習に取り組んだ」よくあてはまるが前年度+2。生徒の「目標を立てて計画的に学習している」よくあてはまる前年度比+2。教員の自主的に取り組む生徒を増やせた前年度比−1.9 【改善点】生徒が自主的に取り組むための、機会の増加や計画的を立てて学習する計画表の作成などの指導を行い職員の働きかけを意識させる。	
	豊かな人間性	・体育祭、合唱祭等の行事の充実 ・あいさつの励行	・体育祭や合唱祭などの行事を通して、一人ひとりが多様な物の見方や考え方を広げ、他者と協働し学校行事に取り組み、所属感や連帯感を高める。 ・生徒会が主体となった自治活動を推進し、あいさつをはじめ人とのかかわりを大切にす豊かな人間性を育む。	4 体育祭・合唱祭等の行事で、生徒の所属感・連帯感を高めた教員100％	3 結果:100%(±0) 5％以上	2 体育祭・合唱祭等の行事で、生徒の所属感・連帯感を高めた教員90％以上	1 体育祭・合唱祭等の行事で、生徒の所属感・連帯感を高めた教員90％未満	4 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒95％以上	3 体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった生徒90％以上	2 自己評価が85％以上	1 結果:90%(+1.0) 85％以上	学級対抗の競技や発表は、本当に素晴らしかった。学級の生徒リーダーを中心に、心をつににして練習に励み、本番の熱気やクオリティの高さは参観者に感動を与えていた。生徒一人一人が、先生方の指導や努力によってうまく組み合わさって、体育祭や合唱祭で大きな力になり、本番で、生徒たちが大きく成長していった。	【分析】・生徒の「体育祭・合唱祭等の行事に参加し所属感・連帯感が高まった」肯定的な回答前年度比+4.5。 【改善点】生徒が他者との協働して取り組む中で連帯感をだため。生徒会主催の行事を通し、仲間と協力する喜びを感じる場をつくる。	
社会と未来に関き、みんなでつくる	豊かな人間性	・地域・保護者との協働的な学習 ・コミュニケーション能力の向上	・地域の方との協働学習（職場体験や地域の方の講話）を通して豊かな社会性や望ましい勤労感や職業観を育成する。 ・生徒会が主体となった自治活動を推進し、あいさつをはじめ、人との関りを大切にし良好な人間関係を構築していく。	4 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員100％	3 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員95％以上	2 結果:93%(−7.1) 5％以上	1 保護者や地域の方などとの交流を進め、生徒の成長につなげた教員90％未満	4 地域の方との交流を行い、自分の成長につながった生徒95％以上	3 地域の方との交流を行い、自分の成長につながった生徒90％以上	2 自己評価が85％以上	1 結果:83%(−1.0) 85％以上	保護士、薬剤師、弁護士などのゲストティーチャーによる講話は、生活指導や生き方の指導に有効だった。生徒が地域で学ぶ、地域で活躍する場を増やして欲しい。交流を増やし、自身の成長につながったと自覚できるようにして、主体的に社会形成に参画できる生徒を育てて欲しい。	【分析】生徒の「総合・行事・授業などにおいて、外部の方から話を聞くことや地域の方との交流を行い、自分の成長につながった」よくあてはまる前年度比+4。防災訓練や災害被害者の話など地域の方の協力していただいた。部活動などで地域行事への参加をした。 【改善点】地域行事への参加や地域連携の機会を増やして欲しい。	
	安全安心の推進	・いじめ防止 ・安全指導の充実 ・地域防災	・いじめ対策委員会を中心に、いじめ対策基本方針に基づき、いじめを許さない環境を醸成するとともに、相談体制を整える。 ・セーフティ教室や情報モラル教育を実施し、危機回避、SOSの発信する能力を身につける。 ・地域の方との協働防災活動や避難訓練を通して、防災意識を高めるとともに、地域に貢献する人材を育成する。	4 「いじめ」や人間関係のトラブル等に丁寧に寄り添う指導を行う教員100％	3 結果:93%(−7.1) 5％以上	2 「いじめ」や人間関係のトラブル等に丁寧に寄り添う指導を行う教員90％以上	1 「いじめ」や人間関係のトラブル等に丁寧に寄り添う指導を行う教員90％未満	4 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等に親身になって応じていると感じた生徒95％以上	3 結果:86%(±0) 85％以上	2 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等に親身になって応じていると感じた生徒85％以上	1 先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等に親身になって応じていると感じた生徒85％未満	「いじめ」や人間関係のトラブル等で、一人一人の生徒に丁寧に寄りそいや生徒からの相談を親身になって傾聴している先生方の姿を多く見かけました。引き続き、いじめ防止対策委員会や学年等で、生徒一人一人の心のSOSを敏感にキャッチして、適時・適切な対応や理解に努力して欲しい。	【分析】・生徒の「先生方は「いじめ」や人間関係のトラブル等、悩みや相談に親身になってくれる」よくあてはまる前年度比+4。生徒の生活アンケート等を行い、状況を把握し、聞き取りを行った。 【改善点】生徒の相談しやすい環境づくりや相談体制の強化をかかっている。	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。